

桜の聖母短期大学

## 親と子の広場

小さなクラスの

# さくらっこだより

火・金曜日

2017年



## 2月・3月号



早いもので、年度末の時期になってきました。親と子の広場に通ってくださっている方の中には、もうすぐ幼稚園や保育所に入るお子さんもいます。平日に遊びに来ることが少なくなり、今よりも会えなくなってしまうので、寂しくなりますが、今年度の最初の頃に比べ、それぞれのお子さんがぐっと成長し、頼もしくなった姿が見られ、嬉しい気持ちも感じている今日この頃です。

今年度の平日の親と子の広場は、2月28日で終わりとなります。(土曜日は3月も開いています。)今年度も様々な場面でご協力くださり、ありがとうございました。

\*4月からの予定は、短大のHPでご確認ください。

文責 長谷川 美香



## 1月の広場より



### 友達との関わりを通して

Y君(2歳)とK君(2歳)が同じ木製の棒を使いたい気持ちから、引っ張り合いが始まりました。見守っていると、棒を取りその場を立ち去ろうとするY君と、追いかけてやろうとするK君の姿が…。また引っ張り合いが始まるのかなと思っていましたが、追いかけてっこをすることが楽しくなった様子で、いつの間にか二人仲良く棒を持ってグルグル保育室を回っていました。



広場に参加した学生からは、「Y君とK君のお母さんが笑顔で見守っている姿が印象的だった」、「友達と関わることを楽しんでいることが伝わってきた」という感想が聞かれました。

自分一人、または保護者の方と繰り広げられていた遊びの世界が、徐々に友達とも共有出来るようになってきたことを感じる出来事でした。

### 予想外の子どもの姿から

広場では、学生があらかじめ、その日経験して欲しいこと、楽しんで欲しいことを考えて保育室の準備をしていることがあります。でも、実際広場が



始まると予想外のことも多く起こります。

この日は、紙皿を雪だるまに見立て、そこにシールや折り紙を貼ったり、クレヨンで好きな絵を描いてもらおうと考えていました。ところが、紙にシールを貼り、そこからお絵描きが始まる子、近くにいるものの、雪だるま作りはせずに、

ビーズでネックレス作りをする子…などの姿が見られました。

せっかくお姉さんが用意してくれたのにとされる保護者の方もいらっしゃるかも知れませんが、実はこういったことも学生の学びになっています。「もっとこうすれば興味を持ってくれたかも知れない」、「予想外の姿から今度はどう関わり、遊びを展開させていけば良いのか」など、日々、感じ取りながら参加しています。



### まねっこ～わたしも読んであげるよ～

Sちゃん（2歳）がこの頃すること…それは、お姉さんが広場で絵本を読み



始めると、自分も絵本と積み木を持って来て、誰かに読んであげようとする様なしぐさをする事。

「ありがとう」と思わず言ってしまうような微笑ましい姿です。

### ★★節分のお話★★

「鬼は外～！福は内～！」そう、2月3日は節分の日です。



節分とは、「季節を分ける」という意味があります。旧暦では、立春が一年の始まりとされており、その前日が節分の日なのだそうです。

また、節分というときすぐ豆まきが思いつきますが、豆をまく理由は、調べると色々な説があります。例えば、「魔＝鬼」として、語呂合わせで「魔目＝豆・まめ」、「魔滅＝豆・まめ」となり、それが1年の無病息災を願って豆を鬼に投げつけることに通じているそうです。

豆をまくだけでも十分楽しいですが、お子さんがちょっと大きくなってきたら、行事の由来やそれに込められている願いを知ると、さらに興味がわくかも知れませんね。

#### <2月の予定>

3日（金）

7日（火）休み

10日（金）休み

14日（火）休み

17日（金）休み

21日（火）休み

24日（金）休み

28日（火）

#### <3月の予定>

休み

## 親と子の広場のご案内

～ 小さな“さくらっこ”～

日時	火・金曜日 10:00～11:30
場所	ミリアム館1階 保育室
年齢	0歳～就園前
参加料	無料
登録料 (保険料)	子ども一人当たり 300円（年1回） ※おうちの方と一緒に参加してください
持ち物	特にありません ※日常、お出掛けの時に持参する飲み物や 着替えなど、必要と思われるものを各自で ご用意ください
担当	奥田美由紀 長谷川美香 ※学生も勉強のため参加します。

桜の聖母短期大学

📍福島市花園町3-6 ☎024-534-7137（代表）